Tayoidai JIN (E) EUS NEWS

令和7年

- もくじ ・ともろー訪問看護ステーション弥生台
 - 同心協力
 - •季節の飾り付け
 - ・リハビリ課
 - 床屋 料金改定
 - ・やよい台仁の献立



ともろー訪問看護ステーション弥生台

春の陽気が心地よく感じられる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか? 3月から、私たちともろー訪問看護ステーション弥生台のスタッフのユニフォームが変わり ました!!

新たな気持ちで訪問看護を提供していきたいと思いますので、よろしくお願い致します。



同心協力(連載コラム) 第8・9回/全17回

同じようなことが重なる、といった日がある。

草むらで古びた軟式野球ボールを拾った。すると、やはり長い間 野ざらしだったと思われる灰色に変色した軟式野球ボールを今度 は藪の中で見つけた。茶色の縫い糸が擦り切れた硬式野球のボー ルと子供用のオレンジ色のゴムボールは道路わきの埋め込みに、 そしてさらに、まだ十分現役として使える黄緑色の硬式テニス ボールを、壁あても出来ない狭い路地で2個発見。かくして半日 でゴルフボール1個を含め7個のボールを拾得した。



著:佐久友朗

雑誌の日もある。週刊誌や少年雑誌の類だ。

一冊もない日もあるが、多い日は4冊も5冊も見つかる。大方は草むらや竹藪の中に放り込 まれてある。

歩きながら読み、読み終わったところで捨てる。理論的にはあり得ることだが、今どき、歩き ながら読書している光景を目にすることはまずない。だから、多分違う。

車を運転中に読了し、窓から投げ捨てる。これもあり得る。実際、運転しながら新聞や雑誌を 読んでいる姿を見かけることはそう珍しくない。だがそれも渋滞や信号待ちの合間であって、 こんなに細くてカーブの多いところで運転中の読書は考えられない。たまたま助手席に置いて あった本が邪魔で、通りがかりに窓から捨てたという可能性は勿論ある。が、かと言って、同 じ日に何人もが同じ行動をとるだろうか。

何本もの傘を目にする日がある。雨の降った後に捨て傘が多いのは分かる。理解しにくいのは 捨てられた傘がおよそ例外なく修復不能な状態にあることだ。台風や、寒冷前線の通過で激し い風雨に襲われ、傘はおちょこになるわ骨が折れるわで、使い物にならないほど無残な姿とな った。そこで、やむなくその場に放棄した。という状況は、しかしそう度々あるわけではな

未練を残すことなく廃棄するために、あえてめちゃめちゃに破壊する。という心理は分からな いではないが、誰もが同じ行動に出るものだろうか。いずれにしても、そうした傘が一日に5 本も6本も、しかもまとめて見つかることがある。

例えばボールを見つけると、脳が無意識のうちにボールを探そうとする。

だからその日はボールが多く見つかる。雑誌や傘も同じことだ。

同じ日に同じものが集中して見つかる。偶然でもましてや奇異な

出来事などでは決してない。多分、学者先生はそう解析するだろう。 しかし、今日はビール瓶を集めようと意識を集中させても、それが

叶うことは経験上まずない。





季節の飾り付け

入所や通所リハビリなど各フロアにて、ご利用者様が作成された季節の飾り物が、各フロアに季節感を作ってくれています。

すべて手作業で作成されていて、壁一面くらいある大作から、かわいらしい作品まで、毎日楽しそうに丁寧に作成してくれています。

季節が終われば新しいものに変わっていきますが、それではもったいないと思い、やよい台仁の正面玄関や談話室などに、過去の作品を展示しています。お立ち寄りの際は、ぜひ見に来ていただければと思います。















リハビリ課

生活行為向上リハビリテーション (通所リハビリ)

当施設の通所リハビリでは、「生活行為向上リハビリテーション」を実施しています。



生活行為ってなんだろう???

以下のような、生活にまつわる行為全体を示します。

- ■身辺動作:食事、更衣、入浴、トイレ動作など
- ■日常生活動作:生活を維持するための家事、買い物、外出など
- ■その他: 趣味や余暇活動など

どんなリハビリするの???

生活行為向上リハビリテーションでは、動作練習や環境の整備、方法の改善などによって、持っている力を最大限に引き出し、活動的な生活を取り戻せるよう、目標に向かって個別のプログラムを作成、実施していきます。リハビリは施設内で行うだけではなく、ご自宅、ご自宅周辺、公共施設などへ月1回ほど訪問して行います。



■当デイケアをご利用中の方で、現在は何らかの<u>生活行為</u>が制限されているけれど、"できるようになりたいこと" "やってみたいこと" など明確な目標のある方を対象としています。ご質問等はいつでも受け付けております。ご興味や不明な点がありましたらご連絡ください。

床屋 料金改定

ヘアーサロンヤマザキの施術料金が、令和7年4月より下記のとおり変更となります。 ご利用されている皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。

> 変更後の価格 カット 2.565 円(税込)



やよい台仁の献立

3月献立表						
16日	178	18日	198	20日	218	22日
(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(±)
神板	御飯	御飯	神板	神板	神版	神板
味噌汁	味噌汁	味噌汁	味噌汁	味噌汁	味噌汁	味噌汁
野菜とハムのソテー	ツナと大観の煮物 チンゲン学のおかか和え	肉団子と野菜の煮物 なめ茸和え	豆腐チャンブルー	厚焼卵	がんも煮物 白菜の梅和え	卵とじ ブロッコリーのごまFレ報:
ブロッコリーサラダ 牛乳	牛乳	生乳	青じそ和え 牛乳	人参とちくわの金平 ジョア白ブドウ	山果の機能な 生乳	ヨーグルト
紅茶	りんごジュース	アップルティー	紅茶	コーヒー	ミルクティ	ココア
•	570C71-X	,,,,,,,				
#版	*****	神板	神板	御板	御飯	御飯
潰まし汁	ちゃんぼん風	コンソメスープ	中華風コーンスープ	中華スープ	味噌汁	コンソメスープ
豚肉のごま味噌炒め	中華風サラダ	魚のトマトソース	八宝菜風煮	鶏肉のチリ炒め	豚肉と野菜のソテー	チーズハンパーグ
高野豆腐の煮物	フルーツカクテル	なすと場合のオイスター勢め	オクラの和え物	ナムル	里芋のおかか和え	ポテトサラダ
洋製		みかん	マスカットゼリー	黄樵	バイン	りんご
玄米茶 レモンケーキ	競茶 だいやき	麦茶 ブチシュー(チョコ)	玄米茶 ドーナツ	麦茶 ココアワッフル	煎茶 ドームケーキ(カスタード)	麦茶 パンケーキ(抹茶)
神板	神板	御板	神板	神板	神板	神板
コンソメスープ	味噌汁	コンソメスープ	味噌汁	コンソメスープ	味噌汁	味噌汁
白身盤のマスタード焼き		場内のマーマレード焼き	白身魚の和風ソース	タラのバター醤油がけ		白身魚の香味鏡
ほうれん草のソテー	いんげんの妙め物	チンゲン菜ソテー	かぶの煮物	プルッコサーのマリネ	小松葉の和え物	切干大根の煮物
さつま芋サラダ	カリフラワーのサラダ	人参サラダ	青菜の胡麻和え	ジャーマンポテト	ひじきの煮物	胡瓜とわかめの酢の
23日 (日)	24日 (月)	25日 (火)	26日 (水)	27日 (木)	28日 (金)	29日 (土)
神板	御飯	御飯	御飯	神板	神板	御飯
味噌汁	味噌汁	味噌汁	味噌汁	味噌汁	味噌汁	味噌汁
えびボールの煮物	高野豆腐のそほろあん	プロナコリーとおんの飲め物	勢り頭	肉団子と野菜の煮物	大観とちくわの煮物	三色信田煮
菜の花の和え物	人参サラダ	小松菜の和え物	きゅうりの梅和え	里芋の梅おかか和え	白和え	白菜の和え物
<u>牛乳</u>	4乳	4乳	生乳 ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニ	牛乳	4男	生乳 ファブルニュー
ミックスジュース	紅茶	ぶどうシュース	コーヒー	ミルクティ	紅茶	アッブルティー
神板	御飯	*****	御板	*****	神板	御飯
責まし汁	コンソメスープ	チキンカレー	味噌汁	きつねうどん	味噌汁	中華スープ
カレイの西京焼き	コロッケ	コールスローサラダ	鶏肉の梅鏡	ブロッコリーサラダ	白身魚の野菜あんかけ	エピと野菜の中華風療師
白菜の柚子香和え	サラダ	オレンジゼリー	なすの甘辛炒め	パイン	和風サラダ	ひじきのサラダ
ያ ያት	メロンゼリー		洋梨		フルーツカクテル	黄槐
玄米茶 ピーナッツバン	麦茶 パウンドケーキ(レーズン)	意策 厚切りパウム(チョコ)	麦茶 もみじ優領	麦茶 ロールケーキ(J-t-)	競茶 パウムクーヘン	競業 パニラクレーブ
	神疾	製版	#版	神疾	神板	神板
中華スープ	味噌汁	味噌汁	中華スープ	味噌汁	コンソメスープ	味噌汁
かに玉の甘酢あんかけ		カレイの香り蒸し	麻婆豆腐	白身魚の磯辺鏡	鶏肉のバン粉焼	白身魚の七味鏡
de late I de late						
もやし勢め チンドン葉の中華風和え物	大製と油傷の煮物 茄子の和え物	南瓜の含め煮 酢の物	菜の花のソテー 中華風和え物	ごぼうの勢め物 いんげんの和え物	マカロニソテー	大製金平 チンゲン菜の和え数

飴の起源を

ホワイトデーで飴を配ったりすると思いますが、飴の起源は文献上で、神武天皇が大和の国を平定した際に、「大和高尾」の地で「水無飴」を作ったという記載が、『日本書紀』の「神武紀」にあったそうです。

われ今まさに八十平瓮をもちて、水無しにして飴を造らむ

この「飴」は「たがね」と読むそうで、『日本書紀』は神話であり不明なことも多くありますが、同書が編纂された720年(養老4年)には、既に飴が存在していたそうです。平安時代の延喜式には「京都に飴屋ができた」とあり、鎌倉時代には「飴売り行商」も誕生しました。江戸時代になるとさまざまな姿で、おもしろおかしく飴を売り歩くようになりました。